

愛知東邦大学 シラバス

開講年度(Year)	2022年度	開講期(Semester)	前期
授業科目名(Course name)	コミュニケーション技能		
担当者(Instructors)	吉村 美路	配当年次(Dividend year)	2
単位数(Credits)	2	必修・選択(Required / selection)	選択

■ 授業の目的と概要(Course purpose/outline)

この授業では、「コミュニケーション能力」がどんな能力なのか、講義での学びで見定めた上で、実践の場(日常)で自身と向き合いながら勉強に励んでもらいます。たとえば、皆さんは知っている人に会ったら挨拶をします。では、なぜ挨拶をするのでしょうか?「それはあたりまえだから」と思うかもしれませんが、知っている人でも挨拶しづらかったり、したくない時はありませんか?そんな時、「なぜ自分はそうなったのか?」と疑問に思っ自分を引きとら把握していく事、それがコミュニケーション能力を高める一歩になります。コロナ禍によりリモート授業に切り替わった際は、オンデマンド形式にて実施します。

■ 授業形態・授業の方法(Class form)

授業形態(Class form)	演習
授業の方法(Class method)	授業は演習を中心に必要に応じてグループワークも取り入れ、受講者同士で協力しながら学習を進めます。

■ 各回のテーマとその内容(Each theme and its contents)

回数(Num)	テーマ(Theme)	内容(Contents)	メディア区分(Media)
第1回	オリエンテーション～授業スケジュール・講義概要～	授業計画・成績評価の方法・学習の目的と目標・習得すべきスキルなどについて解説します。	<input type="checkbox"/>
第2回	コミュニケーションの基本概念～コミュニケーション「はじめの一歩」：まずは自分を理解しよう～	1. 自己を知りたい気持ち、2. 自己理解の手段と問題点	<input type="checkbox"/>
第3回	対人魅力と人間関係～なぜあの人は印象が良いの?：本能と理性の視点から～	1. 印象形成、2. 本能で感じる好き嫌い、3. 理性でとらえる印象	<input type="checkbox"/>
第4回	言語コミュニケーション～言葉で伝えることと伝わらないこと：言葉のメリットデメリット～	1. 本音と建前、2. 言葉だけでどこまで伝わるか、3. 嘘と秘密	<input type="checkbox"/>
第5回	非言語コミュニケーション～ジェスチャーと立ち位置：しぐさで相手の気持ちがわかるのか?～	1. 表情の力、2. 空間心理、3. ペーシング技術	<input type="checkbox"/>
第6回	自己開示のコミュニケーション～ありのままの自分はどこにいますか?：自己分析してみよう～	1. 心の開放度、2. 自己開示できる人の人間関係、3. 自尊心と自己開示	<input type="checkbox"/>
第7回	自己呈示のコミュニケーション～あなたは自分をどう見せているか：見せたい自分に隠れた自分～	1. 見せたい自分、2. 隠したい自分、3. セルフハンディキャッピング	<input type="checkbox"/>
第8回	人を動かすコミュニケーション～説得の心理学的なメカニズム：人が説得される条件～	1. 説得の条件、2. バンドワゴン効果、3. ゲームフィケーション	<input type="checkbox"/>
第9回	葛藤のコミュニケーション～フグは食いたし命は惜しい：葛藤に対する自己防衛～	1. 葛藤の4つの基本類型、2. 防衛規制、3. コンフリクト	<input type="checkbox"/>
第10回	組織コミュニケーション～職業が個人に与える影響：地位は人を作るか?～	1. アイデンティティの構築、2. 組織心理、3. パーンアウト	<input type="checkbox"/>
第11回	コミュニケーションと社会Ⅰ(民族・階級)～社会が個人に与える影響：それは日本に生まれたからですか?～	1. 目には見えない文化、2. 異文化コミュニケーション、3. 階級	<input type="checkbox"/>

第12回	コミュニケーションと社会Ⅱ(ジェンダー・世代)～ジェンダー・世代間ギャップ：なぜ部下の理解に苦しむのか～	1. ジェンダーによる影響、2. 世代間ギャップ、3. 共通点	<input type="checkbox"/>
第13回	アサーションスキルⅠ～自分の思考の癖を知ろう：あなたの思考の癖～	1. 交流分析、2. ストロークの法則、3. 心理ゲーム	<input type="checkbox"/>
第14回	アサーションスキルⅡ～自分の性格の型を知ろう：あなたはどんな交流癖を持っていますか？～	1. アサーション、2. 透明性錯覚、3. 思い込みについて	<input type="checkbox"/>
第15回	これまでの総復習・期末レポート	これまでの総復習・期末レポート	<input type="checkbox"/>

■授業時間外学習（予習・復習）の内容(Preparation/review details)

【事前学習】次回授業のテーマについて、関連する自己の体験や印象的な事例をピックアップしておくこと（2時間程度）。【事後学習】講義で学んだことを再確認の上、自分なりに再考すること。課題が与えられたときは、その日のうちに解決するよう心がけてください（2時間程度）。

■課題とフィードバックの方法(Assignments/feedback)

講義内容に沿った課題プリントを講義の前に配布する。解答は講義の中で提示する。講義の最後に行う小レポートで挙げた質問に関しては、次回講義の冒頭で解説する。

■授業の到達目標と評価基準(Course goals)

区分(Division)	DP区分(DP division)	内容(DP contents)
思考力・判断力・表現力	◆ 2019全学共通DP2	現実世界で自身が体験する様々な出来事について、学問的視点から考察・表現する事ができる。現象を客観的にとらえ、自身や他者が置かれた状況や心の動きについて理解し、課題解決に向けて行動することができる。

■成績評価(Evaluation method)

筆記試験(Written exam)	実技試験(Practical exam)	レポート試験(Report exam)	授業内試験 (in-class exam)	その他(Other)
45%	0%	0%	35%	20%

授業内試験等(具体的内容)(Specific contents)

授業の終わりにその日の学びについて、小レポートを実施します。

■テキスト(Textbooks)

No. (No.)	テキスト名など(Text name)	ISBN (ISBN)
1	教科書として購入する必要はありません。必要に応じ、授業の中でプリントを配布します。	
2		
3		
4		
5		

■参考図書(references books)

No. (No.)	テキスト名など(Text name)	ISBN (ISBN)
1	松井 豊、上瀬由美子『社会と人間関係の心理学』岩波書店	
2	深田博己『インターパーソナルコミュニケーション』北大路書房	
3		
4		
5		